

平成24年度 病害虫発生予察情報 注意報 第1号

平成24年5月31日
発表：福島県病害虫防除所

- 1 対象作物：モモ
- 2 病害虫：モモせん孔細菌病
- 3 対象地域：中通り、会津
- 4 発生量：やや多い

予報の根拠

- (1) 本年5月の降水量は、1半旬(福島90.5mm、平年比767%、梁川40.5mm、平年比355%)及び4半旬(福島18.5mm、平年比109%、梁川31.0mm、平年比190%)で多く、本病の感染に好適であったと考えられる。
- (2) 5月調査における春型枝病斑の発生ほ場割合は、伊達地域では平年より高く、福島地域でも一部で発生が確認された(図1)。また、県内の他地域でも発生が確認されている。
- (3) 5月下旬調査において、過去4年間確認されていなかった新梢葉での発病が、伊達地域の複数園において確認された(図2)。
- (4) 東北地方の1か月予報(5月25日仙台管区气象台発表)では、向こう1か月の降水量は平年並か少ない予想であるが、月の後半は平年同様に曇りや雨の日が多い見込みである。

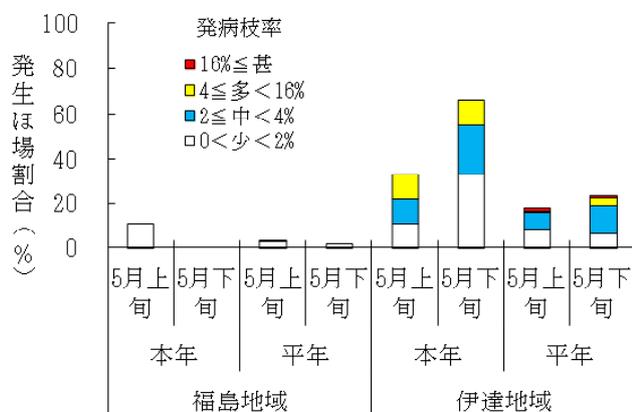


図1 春型枝病斑の発生状況(5月)

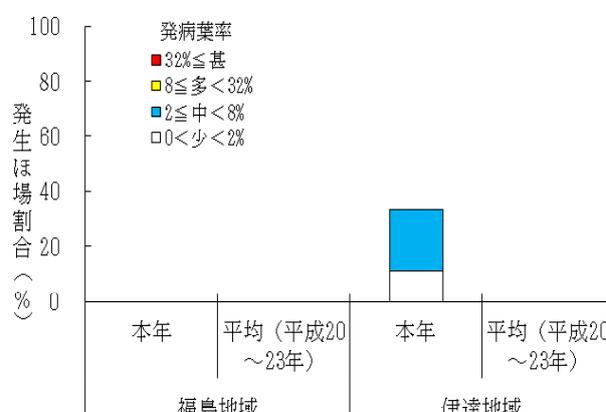


図2 新梢葉における発生状況(5月下旬)

防除対策

(1) 耕種的防除

春型枝病斑は見つけしだい除去して適切に処分する。また、発病葉や発病果実は二次伝染源となるので、見つけしだい除去して適切に処分する。

例年果実被害が多い場合は、6月15日頃までに袋かけを行う。

(2) 薬剤防除

下記の表からいずれかの薬剤を選択して散布する。発生が多い場合には、スターナ水和剤、バリダシン液剤5、マイコシールドのいずれかを使用する。

また、同一薬剤の連用は耐性菌の出現などのリスクがあるので、連用せずローテーションで使用する。

表 モモせん孔細菌病の主な防除薬剤 (登録内容は平成24年5月16日現在)

| 薬剤名 | 成分名 | 希釈倍数 | 使用期間 (収穫前日数) | 使用回数 の制限 |
|-------------|-------------|--------|-----------------|-------------|
| スターナ水和剤 | オキシロニック酸 | 1,000倍 | 7 | 3 |
| チオノックフロアブル | チウラム | 500倍 | 7 | 5 |
| デランフロアブル | ジチアノン | 600倍 | 7 | 4 |
| トレノックスフロアブル | チウラム | 500倍 | 7 | 5 |
| バリダシン液剤5 | バリダマイシン | 500倍 | 7 | 4 |
| マイコシールド | オキシテトラサイクリン | 2,000倍 | 21 | 5 |

※薬剤を選択する際、選択した薬剤の使用回数と含有する有効成分の総使用回数(他剤を含む)に十分注意する。(チウラムを含む薬剤の総使用回数; 5回以内)

※薬剤を選択する際、収穫前日数に十分注意する。

※希釈倍数の下線は、登録上の希釈倍数に幅があるなどの場合で、防除指針で採用されている希釈倍数を示す。

- 情報内容への質問や要望は福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課(病害虫防除所)までご連絡ください。 TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727